

2026年度(令和8年度)

消防吏員救急服仕様書

福山地区消防組合消防局

消防吏員救急服(冬用・夏用)仕様書

この仕様書は、福山地区消防組合消防局(以下「消防局」という。)が発注する消防吏員救急服(冬用・夏用)について定める。

なお、仕様については、消防吏員服制基準(昭和42年2月3日消防庁告示第1号)に定めるもののほか次によるものとする。

1 総 則

- (1) 応札者は、応札前に本仕様書を熟知し応札すること。
- (2) 本仕様書の疑義については、消防局課員に質問し協議のうえ施行完成すること。細部については、消防局課員が別に指示することがあるが、本仕様書に記載されていない部分についても当然必要と認められる部分については良心的に施行すること。
なお、詳細については消防局で管理している見本を参照のこと。
- (3) 使用素材(表生地)の見本、表生地の原反メーカーの品質証明書並びに出荷引受証明書を、2026年(令和8年)6月18日(木)までに消防局総務課に提出し承認を得ること。
- (4) 製品完成の際は、消防局の指示によって検査を受け、手直しの必要がある場合は指定の日時までこれを完了すること。なお、消防局の課員が製作中に検査を行う場合がある。
- (5) 製品は、1着ごとに良質の袋に入れ、氏名・サイズ等が容易に確認できるようにすること。
- (6) 本仕様書の解釈について疑問の点は、消防局と十分な協議を行うこと。
- (7) 採寸は着せ付け採寸とすること。
- (8) 納入場所・納入方法 消防局総務課・搬入
- (9) 納入期限 2026年(令和8年)12月25日(金)
- (10) 数 量
冬用 上 衣 44着(男性用 42着、女性用 2着)
冬用 ズボン 37着(男性用 35着、女性用 2着)
夏用 上 衣 42着(男性用 40着、女性用 2着)
夏用 ズボン 65着(男性用 61着、女性用 4着)
- (11) 採寸については、消防局課員と協議のうえ日程調整を行い実施すること。
- (12) 納入後、サイズ等の修正が発生した場合は速やかに対応すること。

2 上衣型式

カッター衿型肩章付、ファスナー式、長袖カフス式、左右胸ポケット両ブタ付、前ヒヨク、替衿付(予備・替衿1枚含む)、左袖ペンポケット付とすること。(別図1参照)

3 材料については、次表または同等品以上とすること。

区 分	仕 様	用 途
表 地 (冬)	ニッケ エコピッケ<SEK553> 又は カワボウ エコピッケ<1120> 毛 15.0% ポリエステル 84.5% 帯電防止又は制電性繊維 0.5% 帯電防止加工及び強撥水・防汚加工	衿、身頃、袖 カフス、ヨーク 背、肩章
表 地 (夏)	ニッケ エコポーラ<SEK554L> 又は カワボウ エコポーラ<1121> 毛 16.0~25.0% ポリエステル 74.5~83.5% 帯電防止又は制電性繊維 0.5% 帯電防止加工及び強撥水・防汚加工	
衿 芯	テترون プレス芯	
芯 地	ポリエステル 65% 綿 35%	
衿 用	指定の物	
縫 糸	ポリエステル 100% #50	
釦	ポリ釦 15mm×3個	肩章、首元
釦	ポリ釦 13mm×5個	衿台
階 級 章 台	ベルクロマジックテープ 25mm×40mm	
反 射 布	トランスファーフィルム	肩章
替 衿	ポリエステル 50% 綿 50% ブロード	
釦	ポリエステル樹脂(4ツ穴) 10mm×5個	替衿用
ファスナー	YKK 3CFCDA C/# 576 14cm	右胸ポケット
	YKK 4VS OR DA C/# 576	前立て
	YKK 3VS C DSYG C5 C/# 576	カフス

4 条 件

(1) 針数

3cm間で地縫は11針以上、飾りは13針以上、オーバーロックは8針以上とすること。

(2) 穴かがり

上衣はネムリ穴とし、上衣の前立はタテ、肩章・カフス・衿台はヨコとすること。

(3) 釦口

機械付又は手付とし、手付は、2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻は3回以上とすること。

(4) 縫製糸

調子は、上下ともツレ・タルミの無いようにし返し針を完全にすること。

縫糸はテトロン糸を使用すること。

5 縫 製

区 分	要 領
主 衿	テトロン芯を入れ、衿巾は中央で4.5cm(衿合巾3.5cm)、衿先巾を6.7cmとすること
ヒヨク巾	上前部は巾3.8cmとし、下前部は巾3.5cmにて折返し、衿台により裾までステッチミシンを入れること
衿 巾	衿巾は所定のものを衿付中央にはさみ縫い付とすること
胸 ポ ケ ッ ト	胸ポケットは左右2個で雨蓋付とし、雨ブタには所定のテトロン芯を入れること。 右ポケット口はファスナー付とし、スライダーは閉じて内側とする。 雨蓋は巾中央で高さ6cm(端部で高さ4.5cm)横巾14cm、胸ポケットは横巾13.5cm、深さ14.5cm、インダーツとし雨蓋はマジック止めとすること
ペ ン 差 し	左胸ポケット雨蓋の中心部から3.5cm内側に入った所に巾3.5cmのペン差しをつけ、左ポケットにも内側より口巾2.5cmのペンセクションを設けること
ペンライト差し	左袖に袖付より9cm下がった位置に巾4cm、長さ14cmのペンライト差しを縫い付けること
前 立 て	前立ては、ヒヨク式ファスナー仕様とする。
肩 当 て	巾は中央で12cm、背肩ヨークは二重仕立てとし、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとすること
肩 縫	片倒しくるみ縫いとすること。
替 衿	指定のブロードにて衿台巾3.5cm、衿先巾7.2cmの替衿を作成し、シャツ本体の衿台内側に直径10mm4ツ穴のポリ釦を5ヶ所付け、替衿台衿下部にはステッチをかけ、替衿が付けられる様に衿台内側の釦との間隔を合わせ、ネムリ穴をかがること

反 射 布	表生地に指定のトランスファーフィルムを接着し、巾5.5cm長さ10cmの筒状の肩章反射布を作成し、本体の肩章に通しておくこと
背 裏 (夏)	通気性を良くするための表地と同系色の指定のメッシュを背ヨーク下より約37cm下迄取り付けること
背 タ ッ ク	袖付より背中心へ7.5cm入った位置に深さ3cmのタックを左右各1本つづりと22.5cm下がった位置から裾まで縫い付けること その際ミシン目は表に出さないこと
脇 縫	本縫い更にオーバーロックをかけること(インターロックミシン可)
袖 縫	1枚袖とし袖の縫い合せは本縫いし、更にオーバーロックをかけて片倒しとし飾りステッチは入れないこと 更に、この袖は下袖に縫目を作らないこと(2枚袖は不可)
袖 付 縫	本縫いし更にオーバーロックをかけること(インターロックミシン可)
袖 口	カフス付(ファスナー式)でカフス巾6cmとし開きは11cmとすること
片 布	所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫い付け、その下に品質表示を縫い付けること
サイズネーム	衿付中央の下縁に、はさみ縫い付けすること 「福山消防」および「救急救命士(救急救命士のみ)」は刺繍すること 「個人名」については、タテ約2.5cm、ヨコ約4cmの個人名札(マジックテープ)を下前身頃雨蓋付根の中央上部約1cm上がった位置に縫い付け、「個人名」を上衣1着につき1枚付属すること
エンブレム台座	右袖山の所定位置にマジックテープの台座を縫着すること
階級章棚	下前身頃雨蓋付根、中央上部1.5cm上に、タテ2.5cmヨコ4cmのマジックテープを縫い付けること
肩 章	巾は5cmとし、端を袖付けの縫目に縫込みクロスステッチはしないこと。肩章の先は衿付根部より2cm下がった位置とすること
裾折返し	裾は三ツ巻き縫いとすること

※女性仕様については前打ち合わせを男性とは逆(右前)とする。

6 ズボン型式

救急ズボン型式の概要は次のとおりとすること。(別図2参照)

- (1) 帯 帯巾3.5cm
- (2) 前身頃 オールワンタック
- (3) ポケット 脇ポケット 左右に、斜めポケット
ビスポケット 左右に、切り替えプリーツアウトポケット
- (4) ループ 5本 長さ7cm
- (5) 膝当て裏 冬救急ズボンについてはヒザ当て付き

7 材料については、次表または同等品以上とする。

区分	仕様	用途
主材料 (冬)	ニッケ エコサキソニー<SEK551> 又は カワボウ 先染サキソニー<44SK> 毛 30.0% ポリエステル 69.5% 帯電防止又は制電性繊維 0.5% 帯電防止加工及び強撥水・防汚加工	前身頃、後身頃、 前立て、天狗、帯、 ポケット向当て、 ループ
	マーベルト／袋地 構成 ポリエステル 100% 品番 S100V	帯、ポケット袋
主材料 (夏)	ニッケ エコトロピカル<SEK552> 又は カワボウ 先染エコトロピカル<33SK> 毛 30.0% ポリエステル 69.5% 帯電防止又は制電性繊維 0.5% 帯電防止加工及び強撥水・防汚加工	前身頃、後身頃、 前立て、天狗、帯、 ポケット向当て、 ループ
	マーベルト／袋地 構成 ポリエステル 100% 品番 S100V	帯、ポケット袋
副材料	ファスナー	前立て
	オビ芯	帯芯
	前環	前止め
	ポリ釦 15mm	天狗

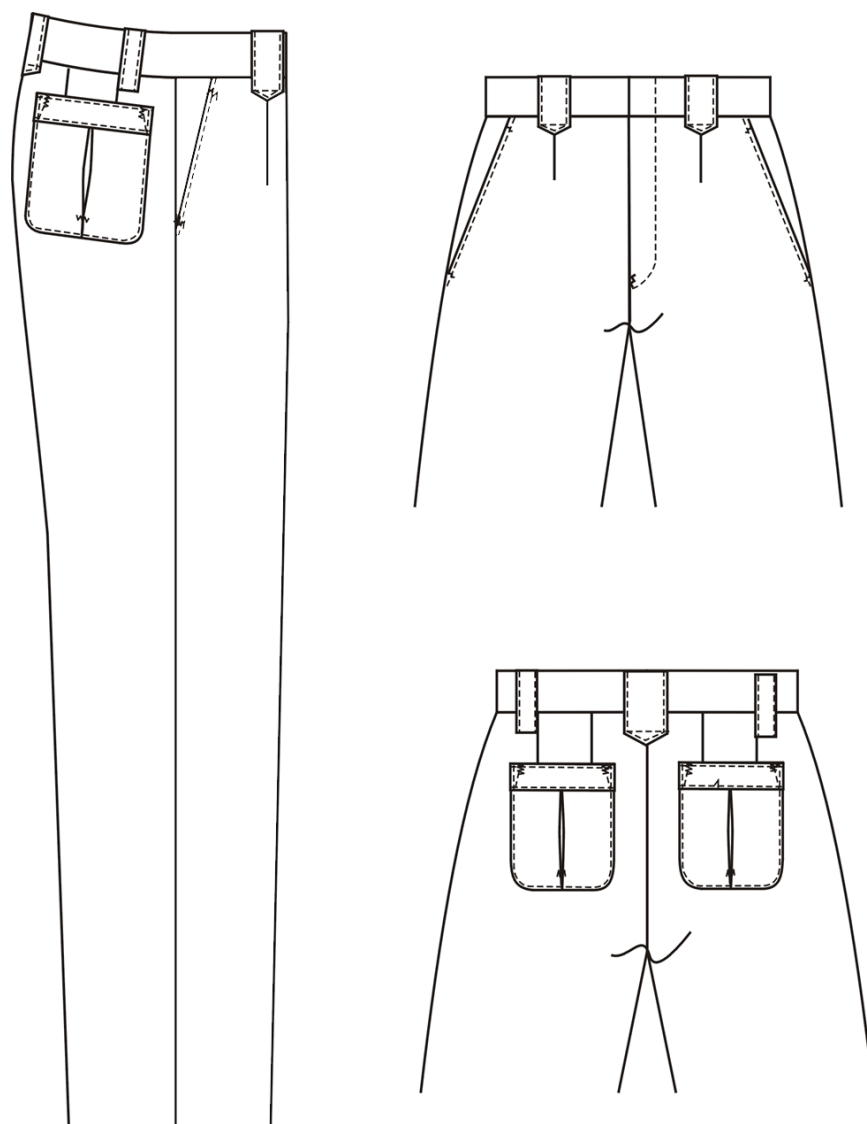
8 縫製

区分	要領																
脇ポケット	<p>口巾15cm、深さ下止り門より15cmを基準とすること 但し、デザインによって口巾・深さは異なる場合がある。</p> <p>口巾・間当て布の断ち目は二つ折り縫い又はオーバーロックかがりとし、袋は地縫い返し、飾り縫い又は突合、二条縫いとすること 但し、特殊なものについてはインターロックかがりでもよい</p>																
ビスポケット	<p>口巾16.5cm、深さ18cmを標準とすること 口巾の巾は8.5cm以上を標準とし、裁ち目は2つ折り縫い又はオーバーロックかがりとする。口巾・向当て布の両端は袋の飾り縫いで縫い込むこと 但し、デザインによってはその限りでなく特殊なものについては、インターロックかがりでもよい</p>																
相引・内股	<p>脇縫いは環縫いとし、内股は二重環縫いとすること 脇ポケット下門から上に5cm、下に10cm程度二重縫いとすること 但し、太糸の一条縫い又は二重環縫いは二重縫いとみなす</p>																
尻縫・小股	<p>割縫いの場合は二重縫いとすること 但し、太糸の一条縫い又は二重環縫いは二重縫いとみなす</p>																
ひざ当て	有り(冬救急ズボンのみ)																
ウエスト	<p>腰裏・マーベルト等による表地のあまり・ねじれのないこと 腰線を美しく仕上げ、マーベルトのまわりによるひびきのないこと</p>																
ファスナー	ファスナー付け止めを完全にし、開き下部にかな止めを入れること																
ダーツ	左右均等とし、ダーツ処理を完全にすること																
針目数	<p>運針数は3cm間の縫い数で表す(飾り加工縫いを除く。)</p> <table> <tbody> <tr> <td>地縫い</td> <td>13針以上</td> </tr> <tr> <td>薄地・その他の特殊素材の場合</td> <td>10針以上</td> </tr> <tr> <td>合</td> <td>5針以上</td> </tr> <tr> <td>すくい縫い</td> <td>10針以上</td> </tr> <tr> <td>環縫い</td> <td>7針以上</td> </tr> <tr> <td>オーバーロックかがり縫い</td> <td>10針以上</td> </tr> <tr> <td>インターロック縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベルト・ファスナー</td> <td>7針以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他特殊な生地を使用した場合は、使用生地に適した運針数であること</p>	地縫い	13針以上	薄地・その他の特殊素材の場合	10針以上	合	5針以上	すくい縫い	10針以上	環縫い	7針以上	オーバーロックかがり縫い	10針以上	インターロック縫い		ベルト・ファスナー	7針以上
地縫い	13針以上																
薄地・その他の特殊素材の場合	10針以上																
合	5針以上																
すくい縫い	10針以上																
環縫い	7針以上																
オーバーロックかがり縫い	10針以上																
インターロック縫い																	
ベルト・ファスナー	7針以上																

釦 付 け	手付け…2本の糸で1つ穴に2回以上(生地共)通し、根巻きは使用生地に適した回数(2~4回)とし、糸止めを完全にすること 但し、足付き釦及び飾り釦の根巻きについては少量とするか根巻きはしない 機械付け…手付きに準じた強度とし糸止めを完全にすること
穴 か が り	鳩目穴は別門付又は流れ止めとすること ねむり穴については両止め4回以上行うこと
柄 合 わ せ	前面は上前・下前を合わせる。後面は尻縫い左右を合わせる 相引きはひざ部を合わせる 脇ポケットは斜めの場合、向当て布は前身頃に合わせる
ラ イ ン	前中心は地の目を通す。後中心はひざ部より下は地の目を通すこと 但し、特別のパターンについてはその限りでない
縫 い 代	相引き 0.8cm以上 内 股 0.8cm以上 尻上端 0.8cm以上 尻下端 0.8cm以上
裾	強固に三つ折り縫いとすること
片 布	所定のを袋地に縫い付け、その下に品質表示を縫付けること
そ の 他	記載されていない箇所については検定見本及び別添図解によること 又、当然行わなければならない事項であれば良心的に対処すること

※女性仕様については前打ち合わせを男性とは逆(右前)とする。

別図2



← 7.0cm →

福 山 消 防	
所 属	
氏 名	
血 液 型	
調整年月	年 月 製
納入業者	

↑
5.0cm
↓